

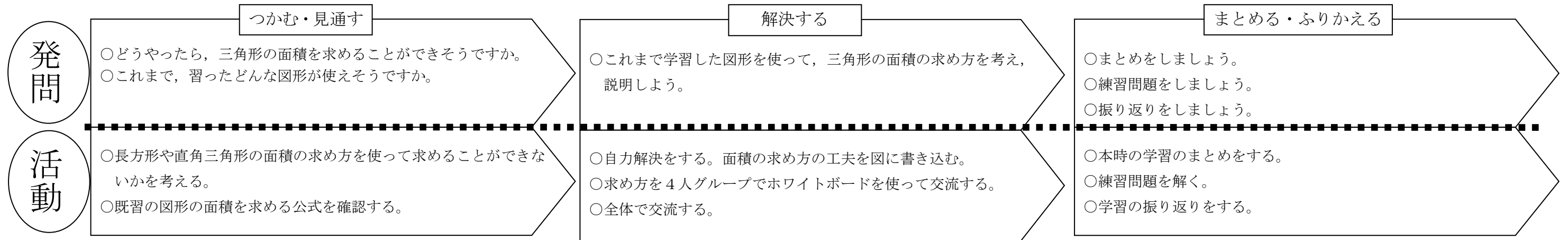
7 本時の目標

長方形や直角三角形の面積を求める公式（求め方）をもとに、一般の三角形の求積方法を考えることができる。【課題発見力】

8 準備物

三角形の図形（掲示用・児童用）、ワークシート、はさみ、練習問題（掲示用・児童用）

9 展開



10/5 三角形の面積

**課題** これまで学習した図形を使って、三角形の面積の求め方を考え、説明しよう。

**問題** 三角形の面積の求め方を考えましょう。また、求め方を説明しましょう。

1cm  
1cm

- 正方形 一辺×一辺
- 長方形 たて×横
- 直角三角形

**①直角三角形2つに分ける**

※ホワイトボード  
 $4 \times 4 \div 2 = 8$   
 $4 \times 2 \div 2 = 4$   
 $8 + 4 = 12$   
**答え 12 c m<sup>2</sup>**

**②つけたして長方形**

※ホワイトボード  
 $4 \times 6 \div 2 = 12$   
**答え 12 c m<sup>2</sup>**

**③切って動かして長方形**

※ホワイトボード  
 $4 \div 2 = 2$   
 $2 \times 6 = 12$   
**答え 12 c m<sup>2</sup>**

**まとめ** 三角形の面積は、直角三角形や長方形に変形させると求めることができる。どの求め方も、長方形の面積の半分になる。

**練習問題** 次の三角形の面積を求めましょう。

※ホワイトボード  
 $6 \times 10 \div 2 = 30$   
**答え 30 c m<sup>2</sup>**

※ホワイトボード  
 $6 \div 2 = 3$   
 $3 \times 10 = 30$   
**答え 30 c m<sup>2</sup>**

**○支援と■評価**

- 問題図形は、方眼紙に三角形を斜めに置いて、ずれていることに気付かせる。その三角形を方眼紙のマス目に合うように置き直させ、長方形や正方形、直角三角形などの既習の形を見つけさせる。
- これまでに学習した図形が使いえないかを考えさせ、正方形や長方形、直角三角形の面積の求め方と面積を求める公式を想起させる。

- 自立解決では、三角形を操作させながら求め方を考えることができるように児童に三角形の図を配布し、活用させる。
- 集団解決では、自分達の考えを交流し合った後、班で一つの考えに絞って、ホワイトボードに記入する。
- 全体交流では、変形の方法を先に取り上げ、方法を説明させた後に、式を掲示させ、図と式を対応させて説明させる。
- 式の中の÷2に着目させ、どの求め方も長方形の面積の半分になることに気付かせる。
- 長方形や直角三角形の面積を求める公式（求め方）をもとに、一般の三角形の求積方法を考えることができる。  
(ワークシート)

- 練習問題では、等積変形と倍積変形の二通りの求め方で求めさせる。
- 振り返りは、学習して分かったこと、納得したこと、深まったことなどを詳しく書かせる。